

「鎌倉古道・歴史遺産の会」主催 講演会&歴史対談イベント

この素晴らしき！町田&多摩の“いにしへの道”たち

～鎌倉古道・奥州古道・万葉時代古代東海道・家康の道・大山道ほか～
“多摩丘陵・まちなま古道群”（町田&多摩古道）

— ニッポンの“古街道のメッカ”発見!! —

つなごう・歩こう！大展望の尾根道 と歴史ロマン古街道

2019年4月2日(火) 13時40分～16時40分

町田市民フォーラム3階ホールにて

町田市原町田4-9-8 サウスフロントタワー3階 ☎042-723-2888
小田急線町田駅東口/徒歩約8分 JR横浜線町田駅北口/徒歩約5分

町田市小山田の峠からの遠望

◆13:20受付開始

◆定員：160名(先着順)

◆参加費：700円(資料代含む)

事前申込不要・当日受付

※消防法により定員を超えての火場は
出来ません

第1部：講演会 13:40～15:50

■基調講演 13:40～14:40

「町田の遺跡は語る！古代・中世の魅力」



【講演者】多賀 譲治 氏
多賀歴史研究所（代表）
公益社団法人 日本文化財保護協会顧問

■テーマ講演 14:50～15:50

「長大な展望尾根をつなごう！
御殿峠・相原七国峠・小野路の古道群」



【講演者】宮田 太郎 氏
古街道研究家
総務省地域力創造アドバイザー

町田市の北部にある「尾根緑道（一部は旧戦車道路）」（古代の武蔵と相模の国境）と、「日本の歩きたい道500選」「新日本歩く道紀行・歴史の道100選」の「多摩よこやまの道」とを線でつなげば、多摩川に面した多摩市北端から町田市の大地沢・草戸峠まで約23キロMの長大な尾根上の歴史遊歩道になります。

古くは諏訪&八ヶ岳地方の縄文人たちが、数千年にわたり関東平野や海浜に向かってこの尾根をたどった「黒曜石ロード」にあたり、古代～中世には都人や武士などの旅人が越えていきました。

その貴重な歴史古道群と環境が、相原、小山、小山田、小野路にまだまだ数多く遺されています。

いまこそ、この「多摩丘陵の背骨」にあたる尾根にあらためて注目し、「御殿峠古道」「相原七国峠古道」「小野路・小山田」の古道群を後世に遺し伝え、活用する未来を一緒に考えましょう。

【お問合せ先】

「鎌倉古道・歴史遺産の会」鶴巻 栄光

☎090-7717-6244

E-mail: e-t@minuet.plala.or.jp